

【香取地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	東庄町	品種	アキヒカリ
土性	砂質土	播種日	3月20日
播種量	250g/箱(高密度)	移植日	4月18日
幼穂形成期	6月14日	出穂期	7月8日
成熟期	8月15日	収穫日	8月18日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	74.0cm	穂長	18.0cm
穂数	467本/m ²	倒伏程度	0
粗玄米重	606kg/10a	標準単収値	568kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：11.7kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発
- ・追肥実施日：－
- ・追肥N量：－ ※肥料銘柄：－

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：4月18日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：65株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：3.7本/株

4 考察等

紋枯病の発生や、穂ばらみ期～出穂10日後の日照不足による登熟歩合の低下によって、収量が伸びなかった。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥N量	9kg/10a（砂質土の場合）
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します